



北海道中札内高等養護学校 コミュニティ・スクール通信

中札内高等養護学校
CS(学校運営協議会)事務局
発行日:令和3年12月10日

第2回コミュニティ・スクール(学校運営協議会)開催

12月10日、今年度2回目の学校運営協議会が開催されました。

今回は、『3学年の進路動向』と『教育活動の状況』についてを中心に情報共有を行いました。また、会議後には翌日実施される展示即売会の会場をご覧いただき、学校への新たなアイデアなども盛んに意見交換する機会となりました。

本校のコミュニティ・スクールは、『中札内村で生活し働く人材の育成』という長期目標を掲げて今年度スタートいたしました。地域の皆様に学校が愛され、望ましい連携の形をお互いに考え、『進路支援体制の充実・発展』を進めていきたいと考えています。

現場実習の報告(生徒から)

(生徒代表 3年木工科 Nさん)

「木工科3年 ○○○○です。私は3年間の学校生活では「就職」を目標に頑張ってきました。前提実習では10月18日から11月19日までの5週間、六花亭の六花の森工場でマルセイバターサンドの製造に関わる仕事を行ってきました。仕事内容は「番重洗浄」「バター、レーズンの積み込み」「レーズンの茎取り」などがありました。体力面では始めのうちは全身が筋肉痛になりましたが、徐々に体が慣れてきました

実習に行き、実際に働く中で特に「あいさつや返事などの声の大きさ」が大事だということを感じることができました。また、実習期間中はグループホーム中札内のひばり荘で生活しながら実習を続けました。卒業まで「あいさつをより良くし、仕事を手早く正確にする」ことを目標に頑張っていきたいと思います。」



(進路部長)

「六花亭さんにおいてはこれまで新卒学卒での障がい者雇用に関しては、なかなか雇用が難しい状況がありましたが、Nさんの持ち前の努力と体力、そして挨拶を含め働く姿勢を評価していただき、会社様の方からうれしい言葉もかけていただきました。

工場長の話によると、だいたい1週間で仕事中に下を向いてしまう人が多いが、Nさんはしっかりと前を向き取り組んでいた。日々の学習や体力づくりなどで身に付けた力が生かされているのだと思います。」

今年度の進路動向

【生徒の進路状況について】

・今年度コロナの影響もありましたが、各企業、事業所様の御協力をいただきながら3年生の進路に関わる前提実習を実施できている状況にあります。例年であれば10月の初めに実習が終了している時期ですが今年は現在も実習が続いている生徒がいる状況です。

【村への就労について】

近年は小売業、とりわけスーパー系へ就労している生徒が増えておりますが、体を動かしたい、工場で働きたい、農業につきたいなど生徒の希望があがるケースもあります。

一般就労した生徒の卒後支援を考えると村で働くことは次のようなメリットがあります。

- ①効果的な卒後支援を行うことができる。職場の方や卒業生と顔を合わせる機会が増えますので何かある前に支援ができることが増えます。
- ②生徒にとっても安心感があり、困ったときにすぐに学校に来れる。相談できるところが近いことは長く働く環境につながります。

- ③卒業生の姿が在校生の意欲や働くための意識向上などキャリア教育に直結する。

村で仕事をする事となれば生活の場の確保が必須となりますのでその点を改めて、御相談させていただきたいと思います。

（質問）「今後、村に居住する生徒が増えたときに、村のグループホームの受け入れ態勢はあるのか。」

（意見）村で就労したいという生徒もいるようだし、学校としてグループホームの部屋を2部屋ぐらい確保してもらうなど具体的な話を進めたらどうか。村と学校と福祉会が集まって正式に話をした方がよいと思う。

（意見）役場でも令和5年度に向けて、障害者採用（会計年度職員）のフルタイムを複数人考えている。住まいの問題については、今まで共有する場がなかったが、例えば公営住宅の活用なども含めて養護学校とも確認していきたい。

（教頭）学校だけでは考えられないことでもありますので長期的に考えていく必要があります。時期は決められないが、来年度に向けて相談させてください。

学校運営に関する意見

（意見）一般の村民の方に学校の様子がもう少し見える形になればいいと思う。待つ形ではなく、出向いていくことがあればよいのではないかと。村の広報で特集するなどもいい。

（意見）職場の知り合いが、毎年即売会で製品を買っている。ネットでの販売や、4月に受注販売ができたらうれしいと言っていた。

（意見）生徒は毎年変わるので、その年の様子を見ながら実習では対応しているが、みなさん挨拶もできているし伝えたことはきちんとやってくれています。道の駅には、野菜などと同じように製品もおいていただいているが、授業の関係で追加納品がなかなか難しい様子です。



（意見）今回、Nさんの様子を聞きましたが生徒の様子を知る機会があればいいなと思いました。コロナ後には村の方に来校してもらえる機会をつくってもよいと思います。

（意見）先日の授業見学で作業学習が印象的だった。こんな素晴らしい製品が作れるというのが地域の方に認知されるとよい。地域とのかかわりやメリットなどは、意外と伝え方がカギになるのではないかと感じた。今回の即売会は村民限定というのもいいと思う。

（意見）私は日高山脈国立公園のPRで役員やっているが、来年、養護学校に木べらを作っただけ景品として利用したいと考えている。地域と密着した養護学校であってほしいという思いで、生徒全員が関わっていただけたら嬉しい。生徒も思い出になるものにしたい。さらに、来年、日本ハムファイターズの応援大使が中札内村になった。学校にもイベント参加や記念品の製作依頼などで連携していきたい。

（教頭）製品を提供する場所いただいているが、即売会もあるので、多くの製品を広く販売するのが難しいという学校の事情もあります。学校のアピールにもなるように校内で取り組めることを精査していきたい。

校長挨拶

本日話をしてもらった彼は卒業して希望通りに村民になればいいと思う。農福連携、村の職員採用の話など仕事は見えてきているので住む場所のアイデアを関係者で今後協議していきたい。また、国立公園の仕事なども含め、もっともっと住民の皆さんに認知していただけるようアピールし、可愛がっていただけるような学校にしていきたい。次回の会議では、今回のように生徒も交えて皆さんと話をしていきたいと思う。